



届けたい この思い この考え！

小中学生弁論大会

松浦ライオンズクラブ（岡本昌司会長）が主催する第30回小中学生弁論大会が11月3日、文化会館で開催され、小学生の部で崎村優人君（青島小6年）、中学生の部で羽戸恭史朗さん（青島中3年）が最優秀賞に輝きました。

崎村君は、「十年後の『おいしい。』のために」と題し、豊かな海の自然や恵みを守ることの大切さを呼び掛け、将来は漁師になり、食卓に青島の『おいしい』を届けたいという夢を述べました。羽戸さんは、「僕の人生『青島』」と題し、熱い青島愛を語り、「青島〇（まる）」の一員として、島の活性化を図るための具体策を述べました。

また、審査員特別賞には井手泰雅さん（福島中）「『家族』心のつながり」が選ばれました。



子どもたちの健やかな成長のため

住商エアバッグ・システムズ（株）より寄附

住商エアバッグ・システムズ株式会社（兼八晃代表取締役）が、地域の子どものための環境学習を支援するため、松浦市立調川保育所に保育教材購入費を寄附しました。

10月31日、同保育所を訪問した社員2人から子どもたちに目録が手渡されました。

同保育所では、環境の大切さについて学ぶ機会を設けるため、子どもたちに身近な教材である絵本などを購入し、日々の保育に取り入れる予定です。

新しい絵本が届くと聞き、子どもたちは嬉しそうな笑顔を見せていました。



満開のコスモスと秋の恵み

コスモス畑の収穫祭

第15回コスモス畑の収穫祭（田代地区コスモス祭り実行委員会主催）が11月5日、御厨町田代地区で開催されました。

地元の新鮮な野菜やお米などの農産物直売所、いももちの無料配布、十割田舎そばの販売、趣向を凝らしたかかしが並びました。来場者が気に入ったかかしに投票する「かかしコンテスト」や、じゃがいも拾いやわら束投げ、ねこ（一輪車）引き競争で農業王を決める「農業王決定戦」で白熱する一幕も。

KazuTomoのミニライブでは、たくさんのコスモスに囲まれて歌うお二人のきれいな歌声が会場に響き、訪れた人たちは、田代地区の皆さんのあたたかなおもてなしを受けてゆっくりとした時間を過ごしていました。



元気づくり・健康づくりの推進

松浦市老人クラブ大会

第12回松浦市老人クラブ大会が11月4日、文化会館で開催されました。

この大会は、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくり」をメインテーマに、共に生きる喜びを実感できる社会づくりを目的として毎年開催され、健康と生きがいづくり、親睦交流の場となっています。

この日は、米寿を迎えた51人の顕彰や各種表彰のほか、「人は、人生の不思議に生きる」と題して浄土寺の香林亮善住職による講演が行われました。

また、会員による舞踊や民謡、カラオケなどの演芸発表も行われ、会場から大きな歓声と拍手があがりました。



子どもたちの笑顔があふれる

すくすくフェスタ

松浦市保育会（前田英範^{まえだ ひでのり}会長）が主催する子育て支援事業「すくすくフェスタ」が11月12日、文化会館で開催されました。

同フェスタは、地域や保護者、保育所（園）が交流を深め、子育てに関する共通認識を持ち、その環境をつくることを目的に毎年開催されています。

この日は、歌のお姉さん「美咲はるみ」とピエロの「じゅか」によるゆかいなコンサートが行われました。楽しい歌やダンス、マジックに、子どもたちは一緒に歌ったり身体を動かしたり、会場が一体となって盛り上がりました。



まちへの熱き想いを受け継ぐ

肥前福島玄蕃太鼓結成 30 周年

肥前福島玄蕃太鼓が結成 30 周年を迎え、11月12日の福島ふるさと祭りにおいて、市から感謝状が贈呈されました。

肥前福島玄蕃太鼓は昭和62年2月9日、地域活性化を目的に福島町の商工会、農協、漁協、企業の青年部などが主体となって結成されました。市内だけではなく全国各地の催事で公演を行うなど地域の魅力を発信しており、その長年の活動は、地域芸能としても定着し、市民にも広く親しまれています。

今回の公演では、長年の熱い想いと支えてくれる地域への感謝の気持ちを込め、平成5年に参加した大阪御堂筋パレードの際のパネルが飾られ、迫力ある演奏が披露されました。

8代目会長丸尾敏幸^{まるお としのぶ}さんは「長年の活動が評価され嬉しく思う。

後継者を増やすため、指導を通して子どもたちに太鼓の魅力を伝えている。ぜひ若い人に叩き手になってもらい、継承して欲しい」と話されました。

現在会員17人。今後も地域振興のための活動が続けられます。



水泳を通じたコミュニティの場

元気な松浦市づくりに関する連携協定締結式

株式会社ビートスイミングクラブ（緒方信行^{おがた のぶゆき}代表取締役）との元気な松浦市づくりに関する連携協定締結式が11月9日、市役所で行われました。

スポーツを通じて明るく元気で活力あるまちづくりを推進することを目的に、スポーツの振興や市民の健康増進と体力の向上、さらには地域活性化などに関する取り組みを協力して進めていきます。

今後、健康寿命の延伸や子どもたちの心身の健やかな成長など、市民の健康づくりの場として機能することが期待されます。



知る・伝える・活かす

旧長醫家住宅主屋期間限定一般公開

登録有形文化財である星鹿町の旧長醫家住宅主屋^{きやうながいけしゅうたく しゅおく}が、11月2日・3日の期間限定で一般公開され、市内外から239人が見学に訪れました。

旧長醫家住宅は、大正時代に伊万里で海運業を展開した実業家である長醫氏が、初代社長夫人のために建てた建築面積264・46㎡（地下室付^{すきや}）の数寄屋風の書院造りの別荘です。

訪れた人たちは、幾何学模様の細工など大正時代の様相をとどめた内装や親族より貸し出された当時の写真などを熱心に眺めていました。当時の状況を知る人は、自身の記憶と重ねて井戸の位置や部屋の様子などを懐かしそうに話していました。

今回収集した情報もふまえ活用策が検討されます。

